

家族会議で決めたら、全員で省エネ!

福島県いわき市 宇羽野浩さん

特徴

- 幼い子供2人も協力して、家族4人で省エネ活動。
- 大人が勝手にやるのではなく、行動する時にはまずテスト的に行い、全員が納得したら行動に移す。
- 考えられる限り、細かい省エネをこまめに実践。

「我慢の省エネ」ではなく、「ムリせず、長く続けられる日常の省エネ」を。

省エネに取り組む時の宇羽野家のモットーは、「ムリせず、長く続けられる、日常の省エネ」を、家族全員で行うこと。快適さを損ねる「我慢の省エネ」はスト



宇羽野さんご一家

レスがたまり、長続きしないと考えているからです。何か新しい試みを行う時も、1人が躍起になって行うのではなく、まずテストしてみて、成果を確認できた段階で家族全員で取り組みます。そうすることで、家族全員のやる気も起こり、子供にとっても省エネが身近になるそうです。

家族で話し合い、全員でアイデアを出し合い実践。

(宇羽野家が実際に行った省エネ活動は、以下の通りです。)

・暖房

設定温度を20℃にしていたのですが、実際の室温は14～16℃と寒く、設定温度を上げるべきか家族で話し合い



フィルターの汚れ具合を常に観察(上)
カーテンの間仕切りで室温を調整(左、上下)

ました。そこで、室内機フィルターの掃除、室内機吹き出し口を下向きにする、不在の部屋をカーテンで間仕切りするなどの意見が生まれ実際に行ってみたところ、室温は19℃になり、ムラも解消しました。

・給湯/風呂

沸かしたお湯を水で冷まして使っていないか、必要のない時に長時間保温していないか、シャワーの使い方にムダはないかなどを話し合いました。その結果、給湯温度を43℃から40℃に、お風呂の温度を40℃から39℃に変更しました。また、その日の都合にあわせて、お風呂に入る時間を調整しました。各人のタイムスケジュールをあわせて、お風呂は入浴直前に沸かし、続けて入浴するように心掛けました。自動保温機能は原則使用せず、必要な時のみ追い炊きするようにしました。

・自動車

ハイブリッド車を使用し、燃費20km/リッターを目標に運転。天気予報や渋滞などの情報を常に把握し、車で移動しなければならない必要があるかを家族で協議。可能な限り、徒歩、自転車、バイクの使用を優先させました。

省エネを積極的にPRする姿勢が子供たちの躰に役立つ。

各々の活動範囲(マンション、幼稚園、職場など)で、家庭の省エネの話題を取り上げ、必要に応じて省エネガイドブックを印刷・配布し、意見交換を行いました。これにより、各家庭の事例を知ることができたそうです。また、他の人に省エネをすすめる親の行動を子供が見ることで、子供たちの省エネ意識も向上し、躰にもなったといいます。

【エネルギー削減率】 3.7%

■プロフィール

住所: 福島県いわき市
家族構成: 4人(夫婦・子供(5歳・3歳))
住宅様式: 集合住宅
省エネ活動について: 以前から実践
省エネナビ: 設置